

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 1 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 3 日 (2006.8.3)

【公開番号】特開 2006-114320 (P2006-114320A)
 【公開日】平成 18 年 4 月 27 日 (2006.4.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2006-017
 【出願番号】特願 2004-299929 (P2004-299929)
 【国際特許分類】

H 0 5 B 6/12 (2006.01)

【F I】

H 0 5 B 6/12 3 1 5

H 0 5 B 6/12 3 2 7

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 20 日 (2006.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数のスイッチング素子で構成され、加熱コイルに高周波電流を供給して電磁誘導を生じさせるインバータ回路と、

電源から前記インバータ回路に供給される電流を検出する入力電流検出手段と、

前記インバータ回路のスイッチング素子のデューティを制御して、該入力電流検出手段が検出した電流に基づく電力を設定された電力にする駆動信号を前記インバータ回路に出力する駆動信号制御手段と、

前記入力電流検出手段が検出した電流に基づく電力及び前記デューティに基づいて加熱対象となる負荷の種類を判別する負荷判別手段と

を少なくとも備えたことを特徴とする誘導加熱装置。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の誘導加熱装置を備え、調理器具を加熱することを特徴とする誘導加熱調理器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

この発明に係る誘導加熱装置は、複数のスイッチング素子で構成され、加熱コイルに高周波電流を供給して電磁誘導を生じさせるインバータ回路と、電源からインバータ回路に供給される電流を検出する入力電流検出手段と、インバータ回路のスイッチング素子のデューティを制御して、該入力電流検出手段が検出した電流に基づく電力を設定された電力にする駆動信号をインバータ回路に出力する駆動信号制御手段と、入力電流検出手段が検出した電流に基づく電力及びデューティに基づいて加熱対象となる負荷の種類を判別する負荷判別手段とを少なくとも備えたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 0 8

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【 0 0 0 8 】

この発明によれば、インバータ回路のスイッチング素子のデューティ及び入力電流検出手段が検出した電流に基づく電力に基づいて、負荷判別手段が負荷の種類を判別するようにしたので、例えば複数のデータ（パラメータ）を複雑に組み合わせなくても負荷の種類を判別することができ、その処理を行う手順（アルゴリズム）を簡素化することができる。特に誘導加熱調理器の場合は、負荷の種類が変更されることが多く、処理の手順の簡素化は特に有効である。